

やりがい持てる職場を



相田社長

県南運輸

定着率向上へ

【栃木】「ドライバーの定着率が良くなった」と話すのは県南運輸(栃木市)の相田昌之社長。今年で創業45年を迎える同社。約1年前から社内コミュニケーション

ションの活発化や、仕事にやりがいを持てる環境づくりを進めている。

「社長になってからの数年は、社員との会話は業務に関することがほとんどだった」と語る相田社長。一時期、退職者が相次ぎ、中には相談なしに突然辞める社員もいたため、接し方を変える必要性を感じたという。

「まずは社員のことを知ろう」と、会話に家庭や趣味の話なども混ぜて、事務所でのコミュニケーションを盛んにした。すると、各人の考え方や性格なども多少わかるようになり、仕事の割り振りや教え方にも適切な配慮ができるようになった。なによりも社内が明るくなった」と笑顔で話す。

現在は自動車部品輸送を主に手掛けている同社。相田社長は自動車エンジンの開発に携わった自身の経験を交え、運送業のやりがいを社員に伝えているという。「運送業は多くの人の役に立つ素晴らしい仕事。取引先や地域住民から感謝の言葉をもらった際には、社員にも共有し、モチベーションにつなげてもらえば」と話している。

(佐藤晋介)

歩みを振り返り

川崎中央トラック運送事業協同組合 創立50周年式典

【神奈川】川崎中で開催した。組合中央トラック運送事業協同組合(高橋浩治理事長、川崎市川崎区)は、創立50周年記念式典を横浜市のホテルニューグランド



高橋理事長

「みなを振り返った。皆様、そして関係各々の上で、先人の皆様の御協力のおかげを50年にわたって、運営をさせていただいた。力いただいた組合の」と述べ、関係者に謝意を示し、「皆様と一緒に閉会の辞は、同組合の若手を代表して、小椋幸美理事が務めた。(田川侑史)

「みなを振り返った。皆様、そして関係各々の上で、先人の皆様の御協力のおかげを50年にわたって、運営をさせていただいた。力いただいた組合の」と述べ、関係者に謝意を示し、「皆様と一緒に閉会の辞は、同組合の若手を代表して、小椋幸美理事が務めた。(田川侑史)

山梨ト協 交通安全功労者・優良運転者を表彰

【山梨】山梨ト協 全に尽力した交通安全功労者・優良運転者(坂本幸晴会長)は、全功労者・優良運転者ライバーに贈られる

賞21人、銀賞26人、銅賞17人が受賞。受賞者を代表して上園正広氏(都留自動車)が表彰を受け

車輪脱落防止及び日常点検実施講習

千葉ト協 / 3月7日に開催

で、「車輪脱落防止及び日常点検実施要領講習」を開催する。車輪脱落事故がこの10年間で12倍に増えている現状を踏まえ、座学と実演を実施し日常点検実施要領の講習も行う予定。改めてタイヤ脱輪事故の怖さと点検整備の重要性を再認識してもらうことを目的とし、タイヤ装着時の徹底事項を実演する。申し込みはWeb